

# IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2023年7月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**79社**。  
当該ISPの約**1.13億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**5,122件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、**1日平均702件**の対象を検知しISPへ通知。

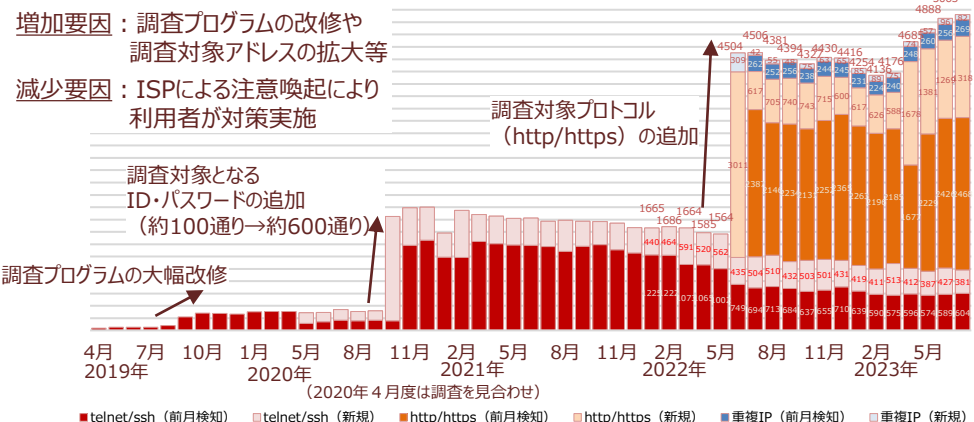
## NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*

**5,122件** (6月度:5,063件)

(参考) 2019年度からの累積件数: 102,508件  
ID・パスワードが入力可能だったもの: 27.0万件

\*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



## NICTER注意喚起\*の取組結果

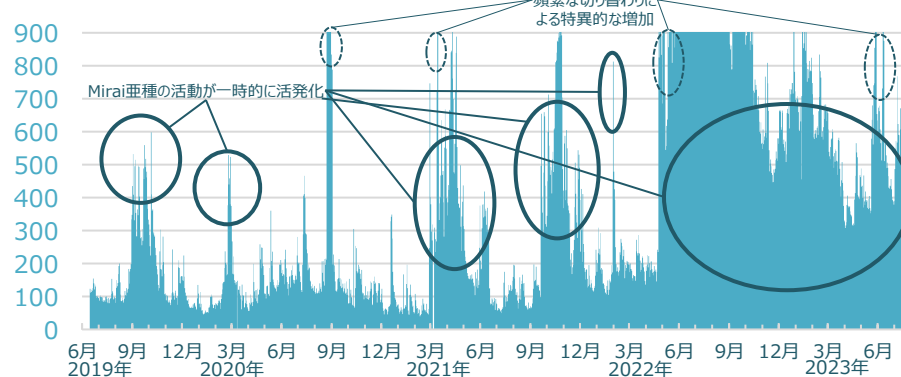
\* マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*\*

**1日平均702件** (6月度:571件)

(参考) 期間全体での値: 1日平均450件  
最小: 40件(2021/2/10) / 最大: 3,288件(2022/6/6)

\*\* NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬以降の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。